

2020年度 授業改善アンケート 3Q 「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	教員コメント
北海道誌	3 Q	渡部 斎	コロナ禍、満足する講義を提供することを心掛けていきたいと思ひます。
北海道誌	3 Q	渡部 斎	コロナ禍、満足する講義を提供することを心掛けていきたいと思ひます。
社会学入門	3 Q	山本 一彦	アンケート結果からは全体的な理解度は一定の水準に達していたと思はれる。自由記述で近代化についての言及があったことは、授業目的の一部とはいえ、科目の役割を果たせたと考へる。次年度以降は、より現代的な問題に引き付けた授業展開を心掛けたい。
社会学入門	3 Q	松下 守邦	授業の予習がすすめられるよう、テキスト学修範囲の予告をおこないました。準備学修にてテキスト本文、配布資料は通読済とらえていましたので、教室ではテキストの読み上げはおこなわず、教員はプリントを使い敷衍、解説をおこないました。Formsのコメントはとても熱心に書いてくださる方がおり、今後の授業の組立てにも活用いたします。授業は2日続きの組立てでしたが、Formsは学生意見の回答編集、Temasは関連資料紹介に活用していきます。
外国の歴史	3 Q	横田 肇	スライドの提示と口頭での説明とのシンクロのさせ方にさらに工夫を加えたい。内容に関しては概ね問題はなかったと思はれるが、マスク使用のため、私の話が聞きづらいとかむせぶ声が混じって話が不鮮明であった点があり、この点も改善したい。
日本事情（留学生）	3 Q	竜野 征一郎	コメント：通常ならグループワークやペアワークをしながら日本のことをより深く学ぶ授業を行っていますが、今回リモート授業のため十分にグループワークが出来ませんでした。リモートでも学生同士がコミュニケーションを取れる工夫を今後考へたいと思ひます。
統計学入門	3 Q	伊藤 裕康	受講者皆さんの理解状況を把握したいと思ひ、机間巡視していましたが、授業の進行速度がまだ速かったようです。授業速度をもう少し調整します。また、Teamsで録画を撮ることで復習しやすくなることから、次年度からも録画を撮るようにします。
統計学入門	3 Q	伊藤 裕康	受講者皆さんの理解状況を把握したいと思ひ、机間巡視していましたが、授業の進行速度がまだ速かったようです。授業速度をもう少し調整します。また、Teamsで録画を撮ることで復習しやすくなることから、次年度からも録画を撮るようにします。
基礎英語Ⅱ	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が94%、「熱意」は、「そう思う」以上が94%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「英語が苦手だったが先生が楽しい授業をしていただけたのが何より嬉しかった。」「わからないことあったら何でも相談していいと言ってくれていたのが、行きやすかった。」「英語の構文を理解することで英文読解と作文がしやすくなった。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
基礎英語Ⅱ	3 Q	宮嶋 達也	リモートによりバワポでの授業回数も増えて文法項目に関しては理解しやすかったのではないかと思っている。
基礎英語Ⅱ	3 Q	横田 肇	スライドの提示の仕方、スライドと口頭での説明の仕方にさらに工夫を加えたい。授業方法、内容の吟味の必要性の他に、マスク使用による話が聞きづらいとか私語がうるさいといった指摘があり、この点の改善もさらに必要と思つた。
基礎英語Ⅱ	3 Q	岡島 徳昭	語学学習に興味を持てるよう教材以外の資料を用意した。毎回学生に問題を解かせ自主学習を促した。
基礎英語Ⅱ	3 Q	石田 暁子	授業中は私語もなく、ほとんどの学生が予習をしていたので進めやすかった。ただ、一部の学生に授業についていくのが大変な様子が見られたので、オフィスアワーを活用するなど、個人的に質問しやすい環境があればよかつた。
上級日本語Ⅳ（留学生）	3 Q	竜野 征一郎	コメント：学生がより実用的な日本語を身に付けられるよう今後さらにテーマや内容を工夫したいと思ひます。
社会保障論Ⅰ	3 Q	大倉 司	予定外のオンライン授業もあり、資料の提示、授業展開等において混乱があったことはお詫びしたいと思ひます。チャットでのやりとりは意思疎通が上手くいかない場面がありましたが、今後いっそう工夫したいと思ひます。
社会学理論と社会学システム	3 Q	松下 守邦	本科目は社会学基礎ですが、高校現代社会の学修内容は重なります。高校定期テストではテキスト文章が穴埋試験になる確認テストと異なり、国家試験では読解力、応用力をためす問題文になります。大学授業は〇〇学になりますから、学説、課題まで掘り下げます。役割論でいえば、高校現代社会は太字2-3個、2ページから、大学基礎では学者3名、概念12個程度、10ページ程度に掘り下げる学修になります。過去解題のための授業工夫に取り組みます。
児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	3 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございました。出席カードでの疑問点・理解できなかった点についての記述とそれに基づく前回授業の振り返りについては、次年度も続けていきたいと思ひます。板書や資料作成等については、ご意見を参考に次回に向けブラッシュアップしていきます。

美術学概論Ⅱ	3 Q	伊藤 光悦	授業内容は昨年度の学生意見を十分に吟味し、美術を進路に選んだ学生達に最も必要な視点は何かという事を重点目標とし、創造力をベースに授業内容を整理し構成した。より興味は高まり、進路に自信を持ったと思う。課題は遠隔授業における機器の改善と能力向上。授業の新しいツールとして前向きに捉え、より円滑に操作し授業を進めたい。
建築システム論	3 Q	長森 正	授業アンケートのご協力ありがとうございます。スライドが速すぎて、板書が間に合わないとの指摘があり、改善いたします。また配布資料は穴埋め式のため、解り易いとの意見があり、さらに改善して良い資料作成に努めたいと思います。理解度を確認しながら進行し、丁寧に進めていきたいと思います。
経営学総論	3 Q	信濃 吉彦	思いの外、高評価だったので少し驚いている。しかしながら、試験の結果は頗る悪く落胆の度合いが大きい。余程に気を配っていかないとりモートによる学習内容は定着しないのではないだろうか。
相談援助の理論と方法Ⅱ	3 Q	櫻井 美帆子	受講者が多かったもで、学生に質問を十分にできなかったことを残念におもっています又、学生も質問がしづらかったのではないのでしょうか。なので、わからないことがあれば、いつでも質問にきてください！
相談援助の理論と方法Ⅱ	3 Q	櫻井 美帆子	受講者が多かったもで、学生に質問を十分にできなかったことを残念におもっています又、学生も質問がしづらかったのではないのでしょうか。なので、わからないことがあれば、いつでも質問にきてください！
相談援助の理論と方法Ⅳ	3 Q	大島 康雄	皆様から頂いた意見などを参考に良い授業を模索していきたいと思います。知識はもちろんですが、日常生活で相談に応じるということを意識できるようなそんな場面を提供しながら話を聞くことや相談に応じることを身に付けられる
相談援助の理論と方法Ⅳ	3 Q	大島 康雄	皆様から頂いた意見などを参考に良い授業を模索していきたいと思います。知識はもちろんですが、日常生活で相談に応じるということを意識できるようなそんな場面を提供しながら話を聞くことや相談に応じることを身に付けられるように展開していきたいです。
発達心理学Ⅱ	3 Q	佐々木 智城	わかりやすい授業を心がけています。パワーポイントやプリント、動画などを取り入れて、イメージしやすいように進めています。これから資料を充実させていきます。
対人行動論	3 Q	吉澤 英里	まずは、アンケートにお答えいただいた学生の皆様に感謝します。私にとって、この大学で英語のテキストを通して心理学の授業をするのは初めての試みでした。もし、「心理学って楽しい」と思える瞬間があったのであれば、それは履修した皆さんの積極的参加（予習・復習・発表）によるものです。受け身では得られるものは少ないです。忘れないでください。もちろん、他の授業は主に日本語の教材を使って心理学を学びます。ぜひ、受講をして学びを深めてください。最後に授業改善について、この授業は私の工夫よりも皆さんの受講態度の影響が強いため、モチベーションを支えられるようなかわかり方を工夫したいと思います。
保育原理	3 Q	中嶋 史	学生とコミュニケーションを大切に、保育に興味関心を持つよう授業を進めてきました。授業の中で実際の保育現場の事例をあげ子供や保護者の様子をイメージしながら一人の学生を考える場となるような授業改善を図りたい。
精神保健福祉の理論と相談援助の原	3 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた82%、十分満足できた12%、満足できた6%となっており、満足していただけた内容になっていると実感しました。今後さらなる向上を図りたいと思います。
生涯学習概論Ⅱ（M）	3 Q	藤根 収	概ねよい評価をいただきました。ただ、オンライン授業の中で、マイクや画像の音がコントロールできなかったりした面がありましたことから、今後オンライン授業でのチェックをしっかりとしながら授業を進めたいと考えます。
生涯学習概論Ⅱ（S）	3 Q	藤根 収	概ねよい評価をいただきました。ただ、オンライン授業の中で、マイクや画像の音がコントロールできなかったりした面がありましたことから、今後オンライン授業でのチェックをしっかりとしながら授業を進めたいと考えます。
知的障害者の心理・生理・病理	3 Q	堀川 厚志	全体の結果から、基本的に今回の進め方を維持する。しかしながら、いずれの項目も1名と思われるが、時間配分、提示資料の表現、配布資料、全体の満足度に対して不十分であるとの結果があり、自由記述の中には「進み具合が早い」とあることから、各内容をさらに焦点化し、ゆっくりと進められるようにしたい。
肢体不自由教育Ⅰ	3 Q	坂上 俊樹	回答の3段階がすべてプラス評価の表現のため、どのように受け止めてよいのか迷うところではありますが、「設問7、授業の内容は興味や関心が持てるものでしたか。」に、高い評価をいただいたことはうれしいことです。さらに、健さんを積みみたいと思います。
精神保健の課題と支援Ⅱ	3 Q	佐々木 智城	図表が入った資料や動画を使用し、言葉だけでは理解しにくい、精神症状などをわかりやすく解説するように心がけました。理解が大切なので今後も視覚的な資料を多用していきます。

保育内容総論	3 Q	吉江 幸子	保育内容総論の講義を真剣に聞いていただきありがとうございます。今回からグループワークを取り入れたことで、戸惑いや難しさも感じたと思いますが、オンライン参加の留学生にも声をかけ、「話し合う・人の意見を聴く」体験ができたと思います。毎回の出席率もよく、参加してくれて一生懸命さが伝わりました。1名、アンケート回答がなく残念でしたが、みなさんからのアンケート評価も高評価をいただき、今後の励みとなります、ありがとうございます。
病弱者の心理・生理・病理	3 Q	高橋 健剛	PowerPointやDVD教材を活用した授業を継続していきたい。途中からの遠隔授業のために計画した話し合い活動ができなかったことが残念だった。 PowerPointや配布資料の文字数を少なくして見やすくなるように改善していく。
家族支援論	3 Q	杉本 大輔	平凡な評価結果、猛省する。
社会的養護内容	3 Q	飯浜 浩幸	授業改善アンケートへのご協力ありがとうございます。今回の授業の在り方について、満足との評価をいただきましたこと感謝いたします。次年度の授業に向けブラッシュアップしていきたいと思っています。
人文地理学Ⅱ	3 Q	渡部 斎	コロナ禍、満足する講義を提供することを心掛けていきたいと思っています。
人文地理学Ⅱ	3 Q	渡部 斎	コロナ禍、満足する講義を提供することを心掛けていきたいと思っています。
心理療法特論	3 Q	佐々木 智城	心理療法の理解には体験が大切なので、資料での解説とその後の体験をセットにして授業を展開しました。できるだけ動画を使い、療法の手順を踏まえた体験をすることで基本的な理解ができたと思います。
日本政治史	3 Q	金子 敏也	テキストが難しかったようなので、もう少しやさしい語り口のテキストを使いたいと思います。
日本政治史	3 Q	金子 敏也	テキストが難しかったようなので、もう少しやさしい語り口のテキストを使いたいと思います。
子ども家庭支援論	3 Q	杉本 大輔	平凡な結果、猛省する。
言語表現	3 Q	吉江 幸子	言語表現の授業に出席いただいたことに感謝しております。途中からオンライン授業になりましたので、手作り絵本作りが途切れてしまい残念です。しかし、絵本のレポートはすぐに全員が提出しており、今後の絵本作りに期待が持てる内容でした、ぜひ頑張って完成させてください。パネルシアターは制作から発表、反省までしっかりと取り組んでおり、楽しく参加できたようで安心いたしました。見学した1年生からは「参考になった」というたくさんの意見が寄せられました。保育以外の学生も履修していましたが、積極的に参加してくれて一生懸命さが伝わりました。みなさんからのアンケート評価も高評価をいただき、今後の励みとなります、ありがとうございます。
WEBデザインⅠ	3 Q	近澤 潤	本科目は、今年度新規開講であったため、デザイン学科3年生の現状やWEB関連スキルを把握することから着手した。授業においては、教員と学生、学生と学生とのコミュニケーションを重視し、質問の投げかけや、グループディスカッションを行うことで、学生に「考えること」を促し、理解の深化を図った。来年度に向け、今年度取り扱った内容を精査し、授業計画の見直しを図りたい。
アニメーションⅠ	3 Q	梅田 真紀	新設科目で手探りで進めましたが、履修生の意欲が高く、満足度の高い授業となりました。授業内容の説明など、より改善していきたいです。
東洋・日本美術史Ⅱ	3 Q	金子 敏也	受講生の皆さんが時間さえあれば、良いレポートを書けるのは分かっています。これからは80%の内容を短時間に書き上げるスキルが身につくような講義形態にしたいと思います。
施工管理技士演習Ⅱ	3 Q	小笠原 健	この講座は、国家資格である二級建築施工管理技士（学科）検定試験の合格を目指すものです。来年1/22に合格発表ではありますが、受講生13名中、8名が合格確実、3名がボーダーライン、2名が不合格確実の結果でした。全国合格率25%のそれなりの難易度の国家資格としては、最終的にかなり高い合格率を確保できる見込みです。慣れない学生のケアについてですが、理解度の不十分な学生については、研究室での個別指導はいつでも実施しています。自ら予習も不十分、個別指導に来ることもなく、授業欠席もする受講者は、結果的に合格ラインに達することはありません。自己がいつまでも授業に慣れないとか、努力ができない学生に対しては、残念ながら学生自身が自ら望んで努力や指導を受けることがなければ改善はできないものと考えます。
建築法規Ⅱ	3 Q	佐藤 善太郎	2年生の法規ⅡもⅠ同様、遠隔授業となってしまいましたので、こちらの意図が充分伝わらなかったのでは？と危惧しましたが、試験の回答を見ると例年通りの修得状況に少し安心しました。ただ対面と同じ内容も、遠隔ではその準備に5～10倍の時間を要してしまうので、その分その他の学生サービスに配慮が生じているように感じられます。
建築士のための基礎数学	3 Q	横山 哲也	板書及び話し方を工夫して、より分かりやすい講義にする。
建築環境Ⅱ	3 Q	伊藤 裕康	授業内容を理解できていない学生を早期発見するために、問題解答を提出させることで対応したいと思います。
鋼構造	3 Q	櫻井政・長森	なかなか良い教科書が市販されていないので、教科書の間違ったところを訂正しながら授業を進めました。正誤表も提示させていただきましたが、それでも納得いかなければ教材の独自開発するしかないと思います。

建築生産	3 Q	小笠原 健	この講座は、二級建築士資格科目の4科目のうちの一つです。日常の学習の習慣化をどう受講生に身に付けていくか、また、最終的に二級建築士試験合格レベルまでどう待っていかか、この講座の最大のテーマです。選択科目でもありますので、資格取得を目指さない学生は受講しなくても良い講座でもあります。よって、毎回の講義に加え、その後の小テストの繰り返しにより、そのスキルを徐々に高めて、最終目標まで引き上げてくために毎回の小テストの成績を公表し、かつ、単位評価の対象にもしています。そのため、受講者の競争心と自己の成績状況を十分に認識してもらうために実施しており、結果的に受講者の大部分の学生が高成績を得ています。
職業指導	3 Q	伴 秀実	授業に対し、良い評価を頂きました。学生がこれから職業人になるべく活動をしていく時に、仕事へのモチベーションを高めていくことは非常に重要であり、今後ともVTR等による事例を含めて、更に職業・仕事に対する理解が深まるよう努めてまいります。
コミュニケーション論	3 Q	山本 一彦	留学生にもきちんと届く板書・パワーポイント資料を心掛けたが、アンケートからはそれなりの達成度であったと思われる。組織コミュニケーションに焦点を当てているので、学生にとってより身近な事例を参考できるよう努めたい。
トレーニング 科学Ⅱ	3 Q	篠原 諒介	授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございます。学生の皆さんからわかり易かったという意見を頂き非常に光栄に思います。ですが、「理解ができなかった」という項目を選択させてしまった学生もいるということに重く受け止め、今後は受講して下さる学生全員が理解できる授業にできるようにしていきたいと思えます。
ミクロ経済学	3 Q	河野 善文	アンケートの結果から判断して、多くの受講生が科目「ミクロ経済学」の内容に興味を持ってくれたようです。今後も学生から興味のもてる内容を心がけたいと思えます。
国際経済論	3 Q	小早川 俊哉	リモートになって最初の授業で入れない学生がいたことは理解しています。授業をしながら、入れない10数名の学生に対処していました。当該学生にとっては教員との1対1ですが、教員サイドは対10数名に対処していたことも理解してください。
国際経済論	3 Q	小早川 俊哉	アンケートから理解できない部分があったとのこと、チャット等での質問には解答していただきましたので、遠慮せずに質問してください。
国際政治論	3 Q	金子 敏也	対面、遠隔と講義形態が変わり、教える立場としても難しいものがありました。来季からはテキスト購入を単位取得の最低条件にしたいと思えます。
国際政治論	3 Q	金子 敏也	対面、遠隔と講義形態が変わり、教える立場としても難しいものがありました。来季からはテキスト購入を単位取得の最低条件にしたいと思えます。
観光マネジメント論	3 Q	五ノ井 壽一	・履修者55名ですから94.5%になると思えます。・教科書の持参者が少ないので教科書をあえて読んで理解させる努力をした。・コロナの渦でオンラインの授業は成績評価がむずかしいものがあります。
スポーツとヘルスケア	3 Q	佐藤和・三嶋	今年度は新型コロナウイルスの感染予防をしながらの授業のため、対面授業と途中から遠隔授業に移行したこともあり、内容をうまく伝えることが難しかった部分もあった。特にテーピングの実技は三密となるため、ソーシャルディスタンスの観点から中止とした。こういったことも考慮し、今後視聴覚教材なども利用しながら授業を展開していきたい。
国際経営論	3 Q	岡島 徳昭	テキストを持たない学生が散見された。テキスト以外に資料を作成し、授業理解の助けとなるよう工夫した。与えた課題には真剣に取り組んでくれた。
ビジネス法務	3 Q	青山 浩之	ビジネス法務は、第3クォーター月曜日3講目と金曜日4講目の科目で、履修者65名、平均出席者50名（平均出席率77%）という状況で、回答者が45名であった。対面授業と遠隔授業（未入国留学生）の併用だったので、従来実施していたビデオ視聴など一部制約があった。後半急きょコロナにより、遠隔授業を移行により学生は大変だったと思えます。設問4・5で、配布資料などの教材に対し、わかりやすいなどの評価を受け、さらに熱意を持って授業を進めたとの好評評価を受けた。
産業心理学	3 Q	吉澤 英里	まずは、アンケートに回答していただきありがとうございます。この授業は多学履修ですので、複数のアンケート（同科目）に共通して回答をします。第3Qは対面からオンライン授業になり、これまでのやり方に慣れていた方にとっては負担も大きかったことと思えます。そんな中、授業進行にご協力をいただき、ありがとうございます。授業をする立場として、オンライン授業にはメリットも多い反面、相手の顔（様子）が見えないというデメリットもあることがわかりました。例えば、資料が手元にあるのか、メモをとっているのか、聞くことに集中しているのか など。視覚的な手がかりがないことの難しさを授業者として感じました。授業改善として、まずは学生さんの細かいニーズをいかに把握し選択するか、その手段と基準を構築する必要があると考えました。いただいたご意見をもとに今後の授業改善をしていきます。

産業心理学	3 Q	吉澤 英里	まずは、アンケートに回答していただきありがとうございました。この授業は多学科履修ですので、複数のアンケート（同科目）に共通して回答をします。第3Qは対面からオンライン授業になり、これまでのやり方に慣れていた方にとっては負担も大きかったことと思います。そんな中、授業進行にご協力をいただき、ありがとうございました。授業をする立場として、オンライン授業にはメリットも多い反面、相手の顔（様子）が見えないというデメリットもあることがわかりました。例えば、資料が手元にあるのか、メモをとっているのか、聞くことに集中しているのか など。視覚的な手がかりがないことの難しさを授業者として感じました。授業改善として、まずは学生さんの細かいニーズをいかに把握し選択するか、その手段と基準を構築する必要があると考えました。いただいたご意見をもとに今後の授業改善をしていきます。
人的資源管理論	3 Q	伴 秀実	授業に対し、良い評価を頂きました。学生が卒業し職業人・組織人になっていくときに、人的資源管理論の内容は非常に重要ですが、在学時には経験が無く理解の難しい内容も含まれています。今後とも平易な説明や事例によって更に理解が進むよう努めてまいります。
金融論	3 Q	山崎 誠	実際の学生の受講の様子とアンケートを照らし合わせ考えました。金融論は激動の中にあり最新の情報を伝えようとした結果、情報過多になっていたと思います。こちらから一方的に話す形式でしたので情報量が多くないと授業が持たない、という結果になっていたと思います。今後は重要な情報を選別しその項目について詳しく説明すること、授業中に小テストをしたり学生に発言させるなど掘り下げを行うこと、で対応したいと思います。テキスト（底本）として「金融の世界史」を選びましたが中世以前の部分は割愛し、近代につながる、大航海時代以降に時代を絞ろうと思います。
スポーツ原理	3 Q	高井 雅一	概ね、良好の評価をいただきました。今後はさらに、スポーツと体育の違い、スポーツが社会生活で担う役割等、学生に深く考えさせ、討議するような内容の改善を図りたい。
運動学（運動方法学を含む。）	3 Q	米野 宏	コロナの関係で、最後のほうは、課題を与えての授業となり、計画していた授業ができず、尻つぼみとなった。コロナ問題は来年も起こりうるので、課題としてとらえたい。
スポーツ生理学	3 Q	篠原 諒介	授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございました。学生の皆さんからわかり易かったという意見をもらえて光栄に思います。ですが、「理解できなかった」という項目を選択させてしまった学生もいるということを重ね受け止め、今後は受講生全員が理解できるよう改善していきたいと思います。
器械運動	3 Q	細川 賢一	授業では安全面の配慮を重視し、授業の準備（器具の配置含む）基本技の段階練習・封所法について学生が理解できるよう意識を高めていきたい。
精神保健Ⅱ	3 Q	佐々木 智城	図表が入った資料や動画を使用し、言葉だけでは理解しにくい、精神症状などをわかりやすく解説するように心がけました。理解が大切なので今後も視覚的な資料を多用していきます。
教育史	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が92%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「考えることの多い授業大変でしたが為になる授業でした。」「アクティブ・ラーニングを活用したわかりやすく、楽しい、理解を深められる対話的な授業でよかった。」「教育の歴史やこれからの教育のあり方を知れて良かった。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
視聴覚教育	3 Q	上坂 恒章	履修した学生は、それぞれのテーマに従って主体的に学び、適切な学修成果を得られたと思います。
生徒・進路指導論	3 Q	高井 雅一	リモートの授業があり、資料配布や操作などで学生に迷惑をかけたが、学生の意欲的な活動に助けられました。良い評価をいただきましたが、リモート授業の改善、内容により自由な討論できる個々の学生を意識した授業を進めていきたい。